

2025年度第2四半期決算概要 および2025年度業績予想

2025/8/5



I N D E X

01

2025年度第2四半期決算概要

02

2025年度 業績予想

03

「中期経営計画2026」（中計26）の進捗

04

Appendix

01

2025年度第2四半期決算概要

01

決算概要 サマリー

2025年度
第2四半期
実績

/前年同期、(増減)

1	受注高	:	5,355億円 /	4,531億円 (824億円)
2	売上高	:	4,946億円 /	5,204億円 (▲257億円)
3	営業利益	:	217億円 /	333億円 (▲117億円)

前年同期比

市場環境

国内は設備投資や輸出など底堅く推移するも、半導体市況回復の動きは足踏み。
米国では足元は堅調に推移、欧州でも持ち直しの動きが見られたが、中国は停滞が継続。

受注高

全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加。なお、半導体関連は減少。

売上高

メカトロニクスで増加するも、インダストリアル マシナリーや
ロジスティックス&コンストラクションで受注残が少なかったことから減少。

営業利益

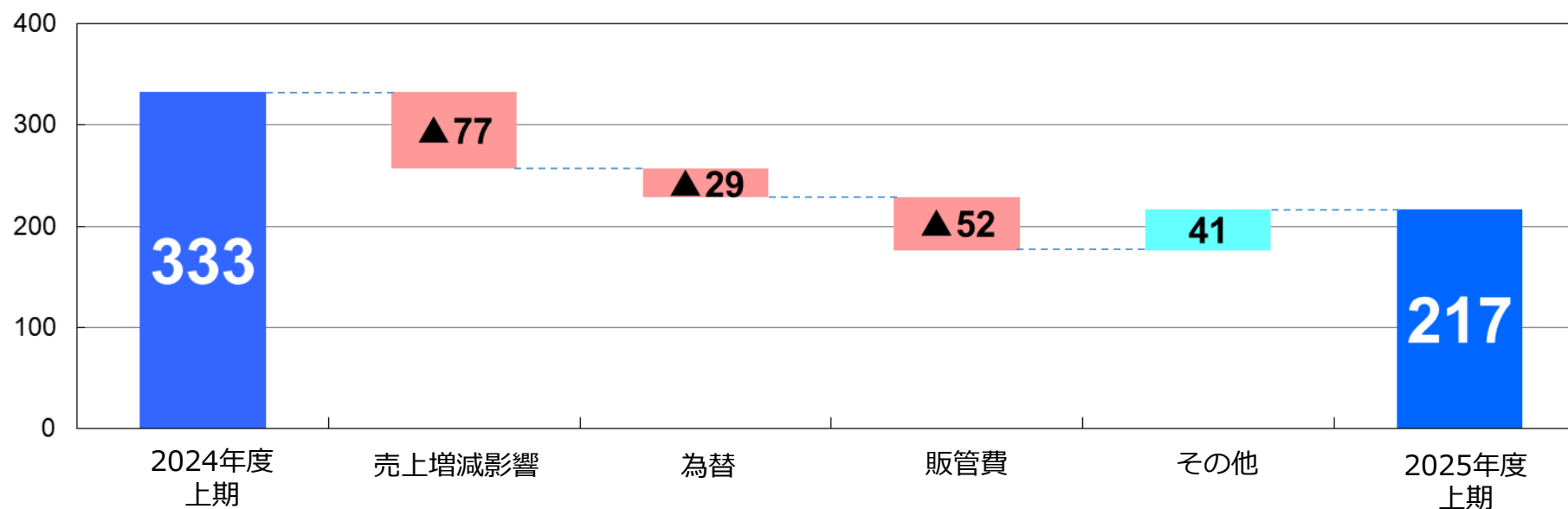
インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上減を
受けて減少。

単位：億円	2024年度			2025年度			前年同期比 増減
	1Q	2Q	上期 実績	1Q	2Q	上期 実績	
受注高	2,211	2,320	4,531	2,602	2,753	5,355	824
売上高	2,548	2,655	5,204	2,415	2,531	4,946	▲257
営業利益	184	149	333	112	105	217	▲117
営業利益率	7.2%	5.6%	6.4%	4.6%	4.1%	4.4%	▲2.0pt
経常利益	188	151	339	100	102	202	▲136
経常利益率	7.4%	5.7%	6.5%	4.2%	4.0%	4.1%	▲2.4pt
特別損益	△2	△2	△4	△1	△8	△9	▲5
親会社株主純利益	136	99	235	65	59	124	▲111
親会社株主純利益率	5.3%	3.7%	4.5%	2.7%	2.3%	2.5%	▲2.0pt
為替レート(USD/JPY)	-	-	¥152	-	-	¥148	-

01

2025年度 第2四半期 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳

単位：億円

● メカトロニクス	16
● インダストリアル マシナリー	▲43
● ロジスティックス&コンストラクション	▲55
● エネルギー&ライフライン	6

01

2025年度 第2四半期 セグメント別業績

受注高 : 全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加。なお、半導体関連は減少。

売上高 : メカトロニクスで増加するも、インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションで受注残が少なかったことから減少。

営業利益 : インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上減を受けて減少。

		受注高			売上高			営業利益				
		2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	増減	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	増減	2024年度 上期実績 /営業利益率(%)		2025年度 上期実績 /営業利益(%)		増減
単位：億円												
メカトロニクス		1,215	1,328	114	1,262	1,294	32	66	5.3	86	6.7	20
	(プラスチック加工機械)	414	515	101	423	430	7					
	(その他)	623	631	8	637	552	▲85					
インダストリアル マシナリー		1,036	1,146	110	1,059	982	▲78	42	4.0	△30	△3.1	▲73
	(油圧ショベル)	771	886	115	1,130	877	▲253					
	(その他)	901	1,050	149	832	878	45					
ロジスティックス &コンストラクション		1,672	1,936	264	1,962	1,754	▲208	180	9.2	79	4.5	▲100
エネルギー&ライフライン		577	911	334	888	883	▲5	36	4.0	70	8.0	35
その他		31	34	2	33	34	2	9	-	11	-	2
合計		4,531	5,355	824	5,204	4,946	▲257	333	6.4	217	4.4	▲117

01

連結貸借対照表

単位：億円

	2024/12末	2025/6末	増減
流動資産	7,845	7,554	▲290
現預金	1,111	1,161	50
売上債権	3,074	2,666	▲408
棚卸資産	3,339	3,403	65
その他	321	322	2
固定資産	4,757	4,816	59
有形固定資産	3,480	3,555	75
無形固定資産	283	294	11
投資その他の資産	995	967	▲28
資産合計	12,602	12,370	▲233

	2024/12末	2025/6末	増減
負債	6,138	6,066	▲73
買掛債務	1,532	1,486	▲46
有利子負債	2,386	2,379	▲7
その他	2,220	2,201	▲20
純資産	6,464	6,304	▲160
株主資本	4,736	4,785	48
その他の包括利益累計額	1,670	1,464	▲206
非支配株主持分	57	55	▲2
負債・純資産合計	12,602	12,370	▲233
ネット有利子負債比率	10.1%	9.8%	▲0.3pt
自己資本比率	50.8%	50.5%	▲0.3pt

01

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

区分	2024年度 上期	2025年度 上期	増減
営業活動	117	466	349
税金等調整前当期純利益	335	194	▲141
減価償却費	186	186	▲0
運転資本	△229	230	459
その他（税金等）	△175	△143	32
投資活動	△238	△309	▲71
（フリーキャッシュ・フロー）	△121	158	279
財務活動	86	△73	▲159
現金・現金同等物増減	1	54	53
現金・現金同等物期末残高	1,003	1,130	127

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 上期
フリー キャッシュ・ フロー（億円）	120	△159	221	△354	158
債務償還年数 （年）*1	1.8	7.5	2.5	18.7	
インタレスト・ カバレッジ・ レシオ（倍）*2	81.8	20.0	27.1	3.4	

*1 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

*2 営業キャッシュ・フロー÷利払い

02

2025年度 業績予想

02

2025年度予想 サマリー

2025年度
予想
/前回予想(25年2月時点)

① 受注高	:	11,000億円 /	11,300億円	(▲300億円)
② 売上高	:	10,500億円 /	10,900億円	(▲400億円)
③ 営業利益	:	500億円 /	600億円	(▲100億円)
④ ROIC	:	4.1% /	5.0%	(▲0.9pt)

前回予想比

受注高

半導体関連や油圧ショベルでの市況回復が遅れていることを受けて
主にインダストリアル マシナリーとロジスティックス&コンストラクションで減少。

売上高

受注の減少を受けて、主にインダストリアル マシナリーとロジスティックス&コンストラクションで減少。

営業利益

売上の減少に伴い減少。

市況認識
見通し

- 国内市況は底堅く推移。
- 北米は足元で堅調続くも関税措置による不透明感あり。他地域を含めた景気下振れにつながる懸念。
- 欧州は底入れからの緩やかな回復を見込む。
- 中国は全般に低迷が継続。米国の対中政策を巡る不確実性が残る。

02

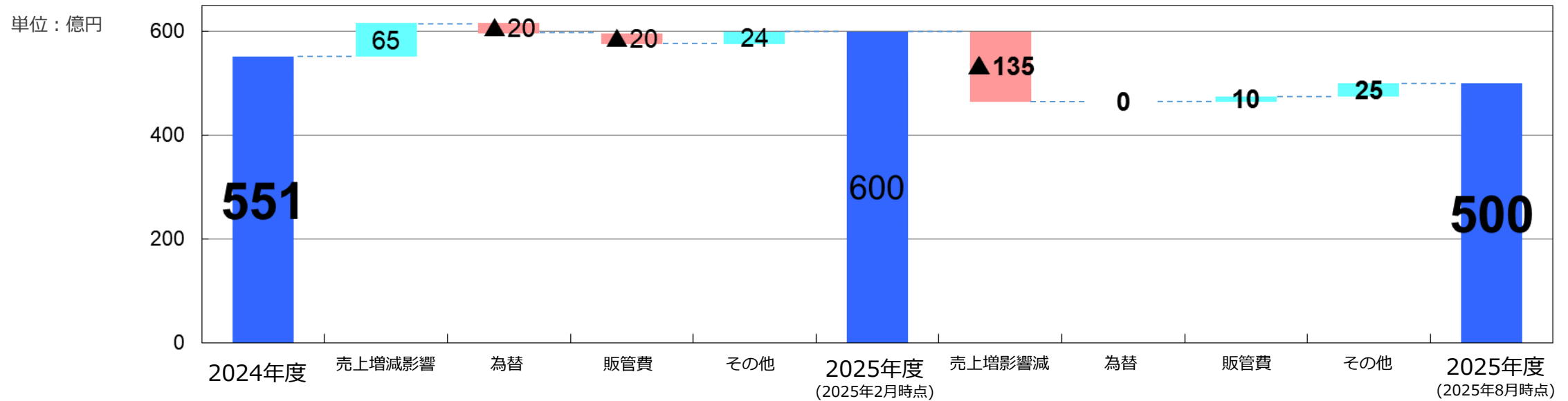
2025年度 業績予想

単位：億円

	2025年度 予想			前回予想 (25年2月)	前回予想比 増減	(参考)		
	上期 実績	下期 予想				上期 実績	下期 実績	2024年度 実績
受注高	5,355	5,645	11,000	11,300	▲300	4,531	4,830	9,361
売上高	4,946	5,554	10,500	10,900	▲400	5,204	5,508	10,711
営業利益	217	283	500	600	▲100	333	218	551
営業利益率	4.4%	5.1%	4.8%	5.5%	▲0.7pt	6.4%	4.0%	5.1%
経常利益	202	238	440	530	▲90	339	153	492
経常利益率	4.1%	4.3%	4.2%	4.9%	▲0.7pt	6.5%	2.8	4.6%
特別損益	△ 9	△21	△ 30	30	0	△4	△271	△275
親会社株主純利益	124	126	250	280	▲30	235	△158	77
親会社株主利益率	2.5%	2.3%	2.4%	2.6%	▲0.2pt	4.5%	△2.9%	0.7%
1株当たり配当	60円	65円	125円	125円	0円	60円	65円	125円
総還元性向	-	-	60.1%	53.7%	6.4pt	-	-	324.2%
ROIC(税引後)	-	-	4.1%	5.0%	▲0.9pt	-	-	4.8%
【参考】ROE	-	-	3.9%	4.4%	▲0.5pt	-	-	1.3%
為替レート(ドル)	¥ 148	-	¥ 145	¥145	-	¥ 152	-	¥147

02

2024年度/2025年度 営業利益増減分析



売上増減影響 セグメント別内訳

単位：億円

	前回予想 (2025年2月)	今回予想 (2025年8月)	増減
● メカトロニクス	40	40	0
● インダストリアル マシナリー	0	▲80	▲80
● ロジスティックス&コンストラクション	20	▲50	▲70
● エネルギー&ライフライン	5	20	15

米国関税の影響

主にロジスティックス&コンストラクションとメカトロニクスにて影響あり。
価格転嫁等の対策を講じるが、▲20億円の影響を見込む。

02

2025年度 セグメント別業績予想

単位：億円

受注高

	2025年度 上期実績	2025年度 予想 (25年2月時点)	2025年度 予想 (25年8月時点)	増減 (2月-8月)
メカトロニクス	1,328	2,680	2,600	▲80
(プラスチック加工機械)	515	990	950	▲40
(その他)	631	1,530	1,350	▲180
インダストリアル マシナリー	1,146	2,520	2,300	▲220
(油圧ショベル)	886	2,320	2,100	▲220
(その他)	1,050	1,800	1,900	100
ロジスティクス & コンストラクション	1,936	4,120	4,000	▲120
エネルギー&ライフライン	911	1,930	2,000	70
その他	34	50	100	50
合計	5,355	11,300	11,000	▲300

売上高

	2025年度 上期実績	2025年度 予想 (25年2月時点)	2025年度 予想 (25年8月時点)	増減 (2月-8月)
メカトロニクス	1,294	2,760	2,700	▲60
(プラスチック加工機械)	430	950	950	0
(その他)	552	1,420	1,200	▲220
インダストリアル マシナリー	982	2,370	2,150	▲220
(油圧ショベル)	877	2,230	1,990	▲240
(その他)	878	1,750	1,810	60
ロジスティクス & コンストラクション	1,754	3,980	3,800	▲180
エネルギー&ライフライン	883	1,770	1,800	30
その他	34	20	50	30
合計	4,946	10,900	10,500	▲400

営業利益

	2025年度 上期実績 /営業利益率(%)	2025年度 予想 /営業利益率(%) (25年2月時点)	2025年度 予想 /営業利益率(%) (25年8月時点)	増減 (2月-8月)
メカトロニクス	86 6.7	150 5.4	155 5.7	5
(プラスチック加工機械)				
(その他)				
インダストリアル マシナリー	△30 △3.1	110 4.6	25 1.2	▲85
(油圧ショベル)				
(その他)				
ロジスティクス & コンストラクション	79 4.5	250 6.3	195 5.1	▲55
エネルギー&ライフライン	70 8.0	70 3.9	100 5.5	30
その他	11 -	20 -	25 -	5
合計	217 4.4	600 5.5	500 4.8	▲100

02

メカトロニクス セグメント

■ 2025年上期実績（前年同期増減）

受注高

1,328億円 (▲114億円)

変減速機は国内、海外とも需要が回復、
モータ・インバータは欧州顧客の在庫調整が一巡

売上高

1,294億円 (▲32億円)

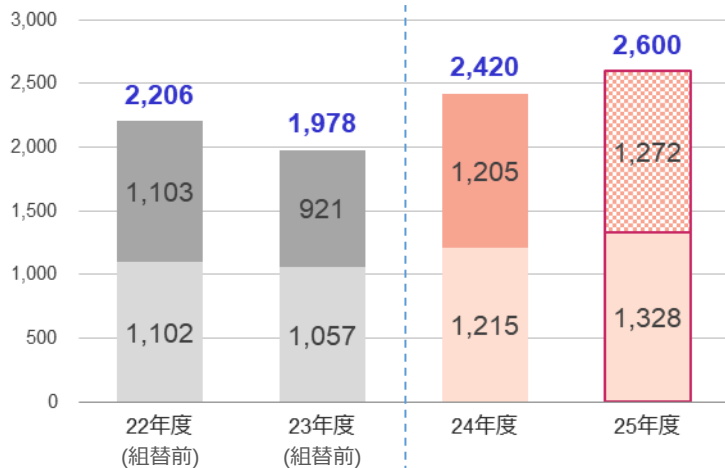
受注の増加に伴い増加

営業利益

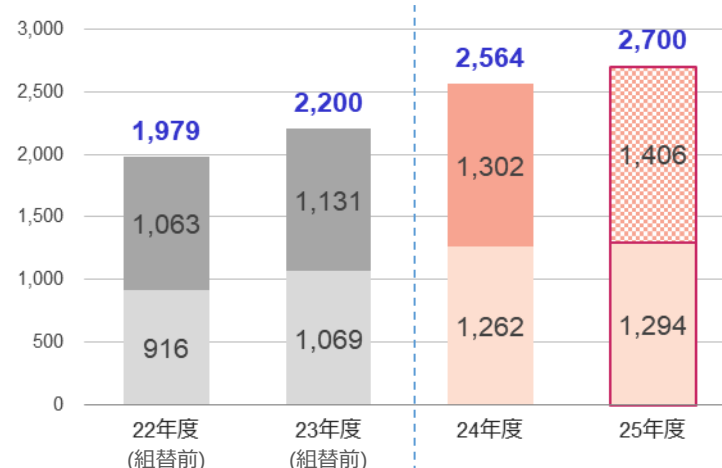
86億円 (▲20億円)

売上の増加に伴い増加

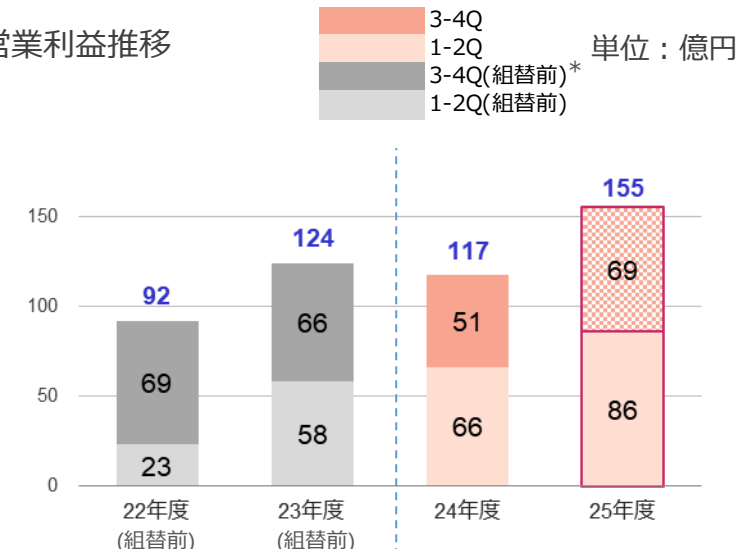
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



■ 2025年度予想（前回予想（25年2月時点）増減）

受注高

2,600億円 (▲80億円)

変減速機は堅調も、半導体コンポーネントにて顧客
の投資先送りが続き減少

売上高

2,700億円 (▲60億円)

受注の減少に伴い減少

営業利益

155億円 (▲5億円)

構造改革による費用減などにより増加

02

インダストリアル マシナリー

■ 2025年上期実績（前年同期増減）

受注高

1,146億円 (+110億円)

＜プラスチック加工機械＞ 中国の電気電子関連を中心に需要が回復
 ＜その他＞ 半導体製造装置が減少の一方、他機種で全般に増加

売上高

982億円 (▲78億円)

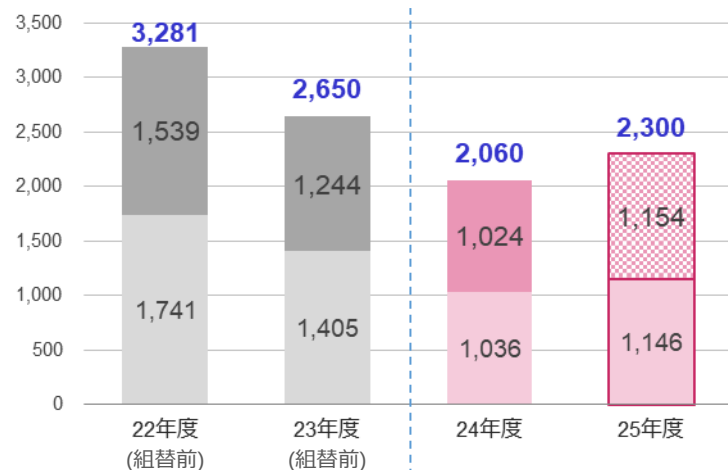
＜プラスチック加工機械＞ 受注の増加に伴い増加
 ＜その他＞ 半導体製造装置の受注残が少なかったことから減少

営業利益

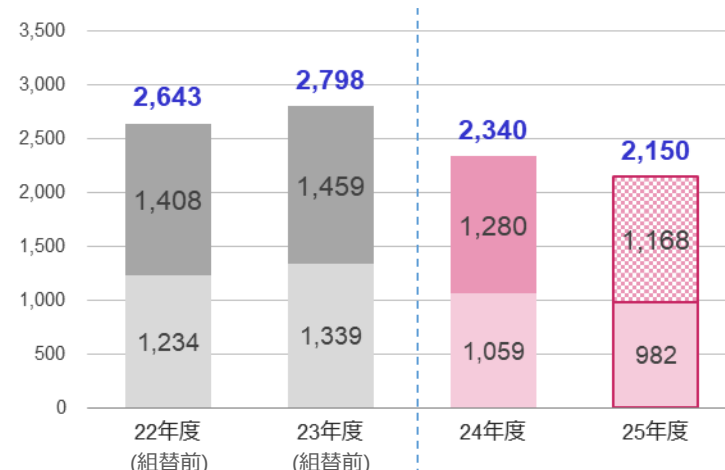
△30億円 (▲73億円)

売上の減少に伴い減少

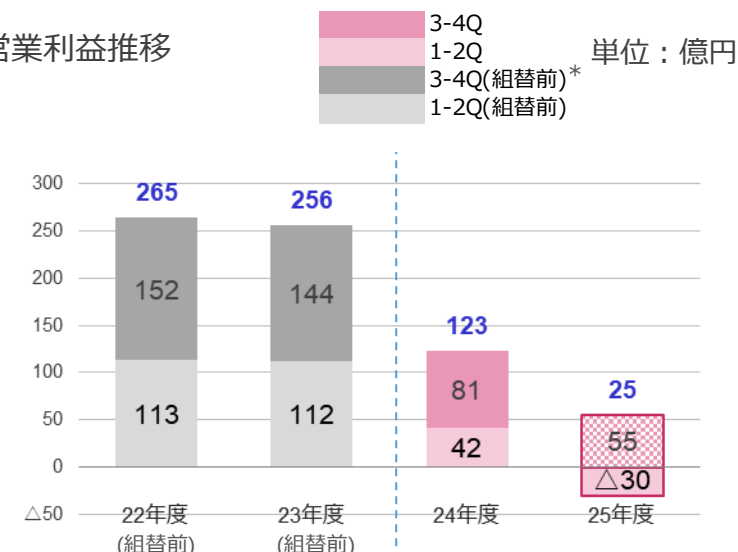
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



■ 2025年度予想（前回予想（25年2月時点）増減）

受注高

2,300億円 (▲220億円)

＜プラスチック加工機械＞ 欧州市況の回復遅れにより減少
 ＜その他＞ 半導体製造装置で想定した市況回復に遅れが見られることから減少

売上高

2,150億円 (▲220億円)

＜プラスチック加工機械＞ 前回予想通り
 ＜その他＞ 受注の減少に伴い減少

営業利益

25億円 (▲85億円)

売上の減少に伴い減少

02

ロジスティクス&コンストラクション

■ 2025年上期実績（前年同期増減）

受注高

1,936億円 (▲264億円)

＜油圧ショベル＞国内、北米とも停滞していた需要に回復が見られ増加
 ＜その他＞建設用クレーンは前年同期並み、産業用クレーンは市況が堅調で増加

売上高

1,754億円 (▲208億円)

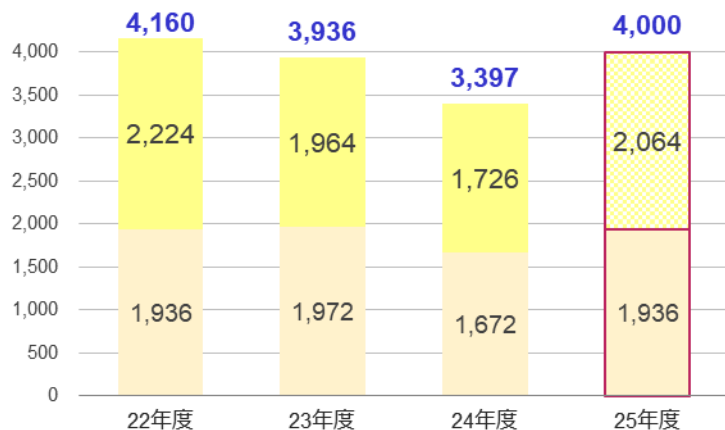
＜油圧ショベル＞前期の受注の減少を受けて減少
 ＜その他＞受注残があったことから増加

営業利益

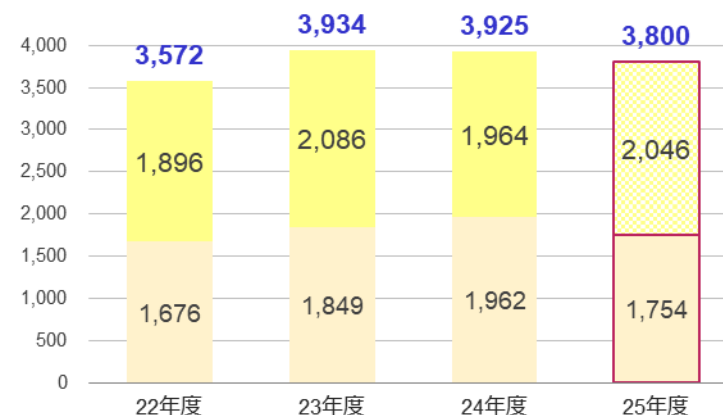
79億円 (▲100億円)

油圧ショベルの売上の減少および産業用クレーンの高採算案件の減少を受けて減少

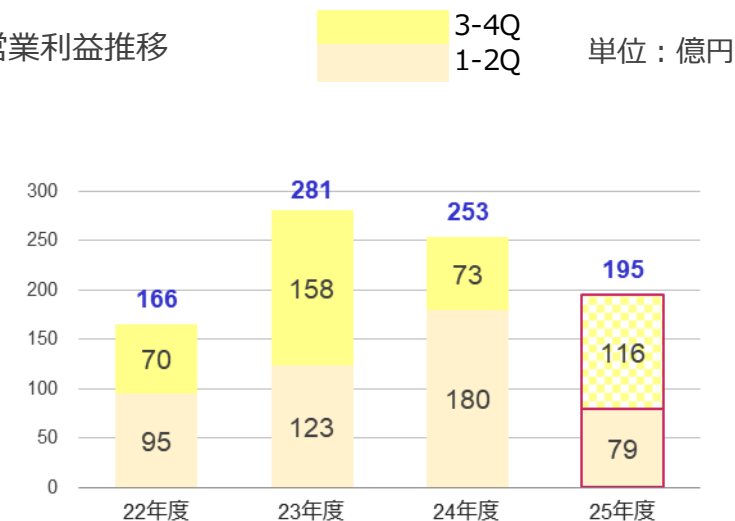
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



02

エネルギー＆ライフライン

■ 2025年上期実績（前年同期増減）

受注高

911億円 (334億円)

エネルギープラントは欧州でバイオマス発電設備を受注、
その他は水処理装置などの受注により増加

売上高

883億円 (▲5億円)

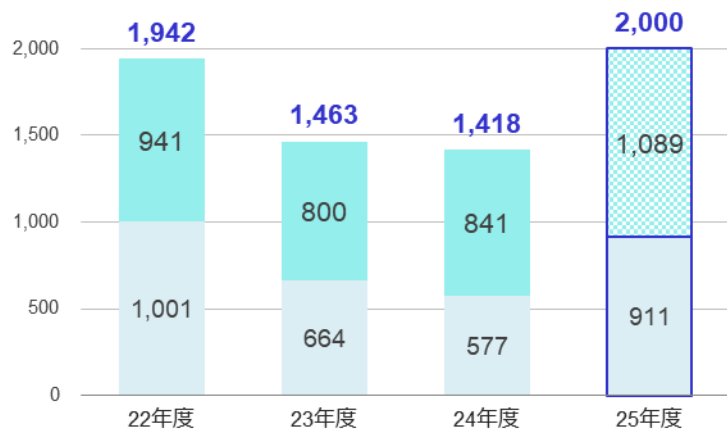
エネルギープラントは受注残が少なかった一方、
その他は受注残があり、全体では前年並み

営業利益

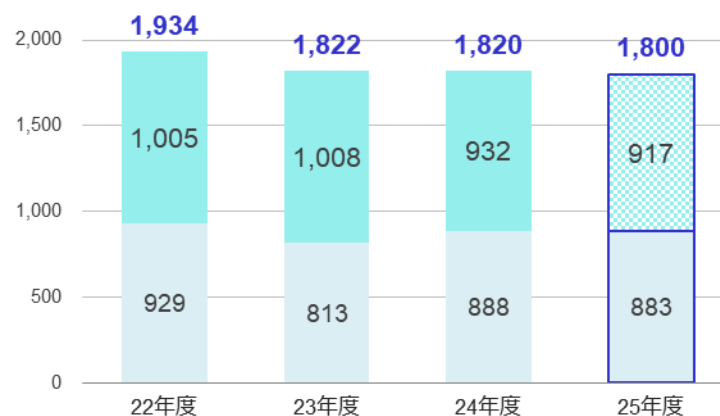
70億円 (35億円)

売上が前年並みの一方、エネルギープラントの
プロジェクトの採算改善により増加

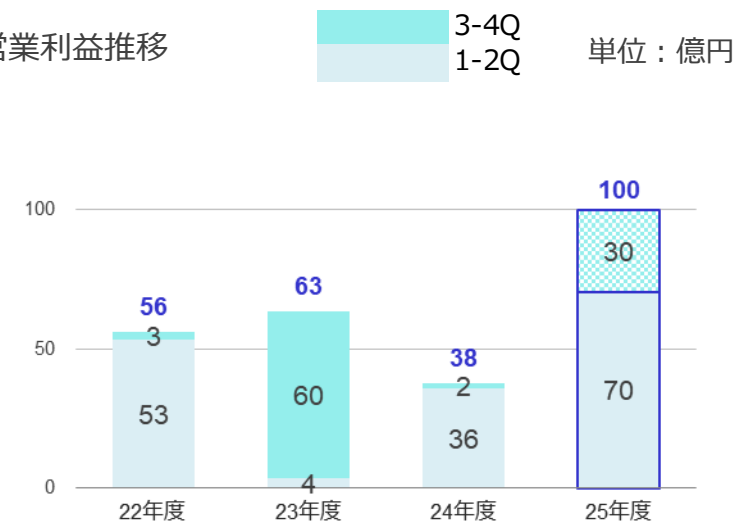
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



単位：億円

03

「中期経営計画2026」（中計26）の進捗

03

「中期経営計画2026」基本方針および骨子

長期的
方針の
考え方

製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大する

2021～23

2024～26

2027～29

2030

社会課題解決のための
基礎固め

社会課題解決のための事業ポートフォリオの実装

「深化」と「探索」の更なる実践

「あるべき姿」実現に向けた総仕上げ

「あるべき姿」
の実現

基本方針

強靱な事業体の構築

重点課題

- | | | | |
|----|----------|------------------------|----|
| 01 | 収益力の改善 | …深化による稼ぐ力の強化、利益にこだわる経営 | 深化 |
| 02 | 資本効率の向上 | …ROIC経営の徹底 | |
| 03 | 新事業探索の強化 | …探索による事業機会の発掘 | 探索 |

深化

探索

収益力改善、資本効率向上、探索強化をコーポレート・セグメントの両面から遂行

基本戦略

コーポレート戦略

- 事業ポートフォリオ改革の推進
- 資本政策
- 新事業探索機能の強化
- 経営基盤強化（サステナビリティ・人的資本・DX）

セグメント戦略

- 深化による稼ぐ力の強化
- 探索による事業機会の発掘
- シナジーの追求
- セグメント組織の効率化

コア技術で

豊かな社会を支え、

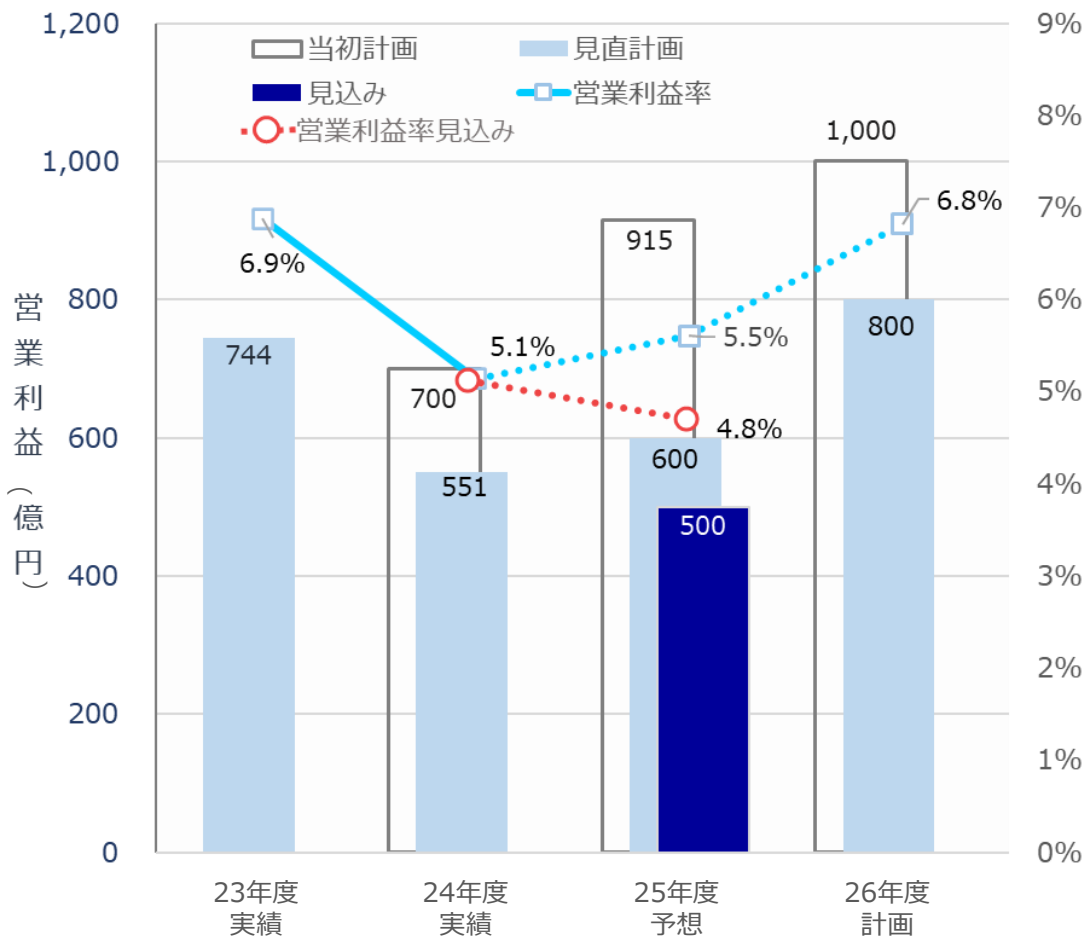
CSVを実現する企業

共有価値の創造
Creating Shared Value

※ 基本方針に変更はないが、事業環境の変化や主力事業の収益性改善遅れなどにより足元の業績が下振れているため2025年2月に計画の見直しを実施

03

事業環境の変化と見通し



2025年当初からの事業環境の変化

欧州事業

- 自動車産業のEV投資戦略見直しや米国関税による輸出の下押しに起因した欧州全域での景気低迷長期化
- 電機制御・プラスチック加工機械事業の顧客設備投資のさらなる延期

半導体事業

- 生成AI、データセンター向け需要は急増し市場牽引も、EVおよび産業用途向けは低調。中国では米国輸出規制を見越した投資は一服
- 一部パワー系で再編が進んでいるもののグローバルには投資は継続しており、求められる機能への追従が必要。
イメージセンサ市場は26年後半以降回復していく見込み

シヨベル事業

- 国内の建設工事量は堅調も、資材や人件費の高騰やレンタル機ストックの充足感で需要は減少
- 米国のインフラ投資は堅調。年後半から需要回復を見込むも、トランプ関税の経済影響が最大の懸念材料

見通し

2025年度は半導体分野の落ち込みが顕著であり約100億円の営業利益低下見込。厳しい状況が続くが、今後半導体市況回復による需要増加を見込むとともに、重点施策（基盤事業の収益力強化、ポートフォリオ改革、半導体事業強化）を実行することにより2026年度目標を達成する

03

重点施策 対処すべき課題と実施状況

2030年のあるべき姿と現状とのギャップを埋めるべく、下記重点施策の実行を加速し「稼ぐ力」の立て直しを行う

	対処すべき課題	実施状況
1	● 基盤事業の収益力強化	● ギヤビジネスの営業利益改善 ● 電機制御事業の受注拡大 ● プラスチック加工機械の営業利益改善 ● ショベル事業の受注拡大 ● 欧州事業の構造改革
2	● 事業ポートフォリオ改革の推進	● ポートフォリオマネジメント加速 (選択と集中の実行)
3	● 半導体関連事業の強化	● イオン注入装置とレーザアニール装置のシナジー強化 ● LASSEの顧客チャネルを活用した欧米での事業拡大

LASSE : Laser Systems & Solutions of Europe SASU

03

基盤事業の収益力強化 進捗状況

収益低迷事業の収益力強化が戦略課題

セグメント	メカトロニクス		インダストリアル マシナリー	ロジスティックス& コンストラクション																																																												
KPI	ギヤビジネスの 営業利益改善	電機制御受注拡大	プラスチック加工機械の 営業利益改善	ショベル事業の需要回復、 在庫適正化による受注拡大																																																												
25年 進捗実績	機種統廃合および価格改定、 不採算案件撤退により収益性改善	LSPAとIDLの協業による 商品開発とクロスセル開始、 上期受注は堅調に推移	SDGの受注減／受注遅れにより 損益減少も全体がカバーし 改善予定	操業増対策と固定費抑制を推進、 関税と為替好転を除くと計画並み																																																												
計画 ・ 見込み	ギヤビジネス（営業利益率） <table><tr><th>年次</th><th>計画</th><th>見込み</th></tr><tr><td>23年実績</td><td>8.5%</td><td>8.5%</td></tr><tr><td>24年実績</td><td>6.5%</td><td>6.5%</td></tr><tr><td>25年</td><td>6.8%</td><td>6.8%</td></tr><tr><td>26年</td><td>10%</td><td>-</td></tr></table>	年次	計画	見込み	23年実績	8.5%	8.5%	24年実績	6.5%	6.5%	25年	6.8%	6.8%	26年	10%	-	電機制御（受注）（億円） <table><tr><th>年次</th><th>計画</th><th>見込み</th></tr><tr><td>23年実績</td><td>380</td><td>380</td></tr><tr><td>24年実績</td><td>380</td><td>380</td></tr><tr><td>25年</td><td>400</td><td>400</td></tr><tr><td>26年</td><td>480</td><td>-</td></tr></table>	年次	計画	見込み	23年実績	380	380	24年実績	380	380	25年	400	400	26年	480	-	プラスチック加工機械（営業利益率） <table><tr><th>年次</th><th>計画</th><th>見込み</th></tr><tr><td>23年実績</td><td>1%</td><td>1%</td></tr><tr><td>24年実績</td><td>-2%</td><td>-2%</td></tr><tr><td>25年</td><td>1%</td><td>1%</td></tr><tr><td>26年</td><td>6%</td><td>-</td></tr></table>	年次	計画	見込み	23年実績	1%	1%	24年実績	-2%	-2%	25年	1%	1%	26年	6%	-	油圧ショベル（受注）（億円） <table><tr><th>年次</th><th>計画</th><th>見込み</th></tr><tr><td>23年実績</td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr><tr><td>24年実績</td><td>1,600</td><td>1,600</td></tr><tr><td>25年</td><td>2,200</td><td>2,200</td></tr><tr><td>26年</td><td>2,500</td><td>-</td></tr></table>	年次	計画	見込み	23年実績	2,000	2,000	24年実績	1,600	1,600	25年	2,200	2,200	26年	2,500	-
年次	計画	見込み																																																														
23年実績	8.5%	8.5%																																																														
24年実績	6.5%	6.5%																																																														
25年	6.8%	6.8%																																																														
26年	10%	-																																																														
年次	計画	見込み																																																														
23年実績	380	380																																																														
24年実績	380	380																																																														
25年	400	400																																																														
26年	480	-																																																														
年次	計画	見込み																																																														
23年実績	1%	1%																																																														
24年実績	-2%	-2%																																																														
25年	1%	1%																																																														
26年	6%	-																																																														
年次	計画	見込み																																																														
23年実績	2,000	2,000																																																														
24年実績	1,600	1,600																																																														
25年	2,200	2,200																																																														
26年	2,500	-																																																														

03

欧州事業の構造改革 実施状況

改革項目

L
S
P
A

1. 一部工場閉鎖・統合、人員削減によるコスト減

2025 ▼

2026

✓ 一部工場閉鎖（年内閉鎖に目途）

✓ 工場統合（生産移管開始）

✓ 部品集約、内製化向上

✓ 他エリア工場との生産最適化

改革は概ね計画通り進捗、業績回復基調

S
D
G

1. 市場縮小に合わせた生産能力縮小
2. 人員削減
3. 電動機需要拡大に合わせたハイエンド電動機生産シフトによる高収益化

✓ 能力縮小、人員削減 年内完了に目途

✓ 油圧機の生産中止、ハイエンド電動機生産シフト

市況想定の下割れにより追加施策の検討を開始

S
F
W

1. 市場縮小に合わせた人員削減
2. サービス体制増強に向けた人員転換
3. 不採算拠点整理による資産圧縮、固定費削減

✓ 不採算拠点整理（一部拠点の売却合意）

✓ 人員削減、サービス人員への転換

追加での人員削減、サービス事業強化に向けた人員増強を加速

SFW : Sumitomo SHI FW Energie GmbH

03

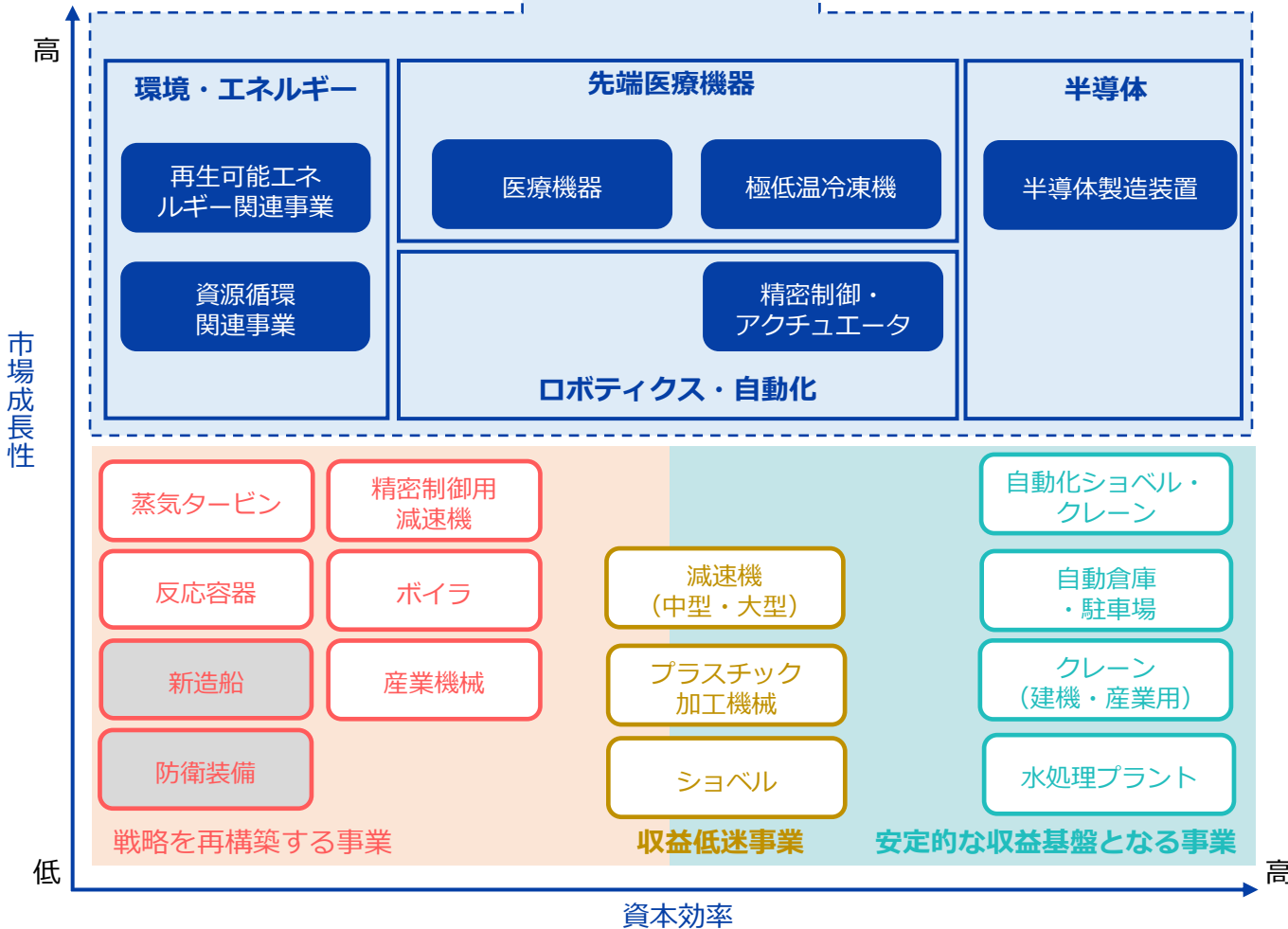
事業ポートフォリオ改革の推進（戦略再構築事業の対策実施状況）

低成長・低収益事業の戦略再構築を実施し、成長を見込む4つの重点投資領域事業へ経営資源を集中し事業の拡大を図る

次世代の中核候補となる育成事業

積極的な投資対象

成長を牽引する事業



収益低迷事業

総事業規模：約4,500億円

- 減速機（中型・大型）
機種統廃合は計画通り進捗。
価格改定および不採算案件からの撤退を順次実行中
- プラスチック加工機械
57機種から35機種に機種削減。SDGの電動機シフトは計画通り、追加の固定費対策も開始
- ショベル
新型機投入による差別化と受注拡大施策を実施中。
27年度の稼働に向け、横須賀製造所内に新工場建設中

戦略を再構築する事業

総事業規模：約1,200億円

- 蒸気タービン、反応容器、ボイラ、産業機械、精密制御用減速機については再構築プランの策定を完了し、順次実行中

03

半導体関連事業強化／半導体製造装置

半導体製造装置事業においては、イオン注入装置とレーザアニール装置（LASSE含む）の統合・連携強化により事業規模の拡大を図る

イオン注入装置



統合・連携強化

開発
販売
製造
サービス

レーザアニール装置



統合・連携強化後の見通し

- LASSEの顧客チャネルを活用した欧米系事業の拡大
- ロジック・メモリー、パワー半導体への販売チャネル拡大

統合・連携強化後の見通し

- パワー半導体に加え、先端デバイス向け需要増加に対応すべく日・仏の両拠点にて生産能力を増強

03

半導体関連事業強化／各市場状況と今後の方向性

イオン注入装置とレーザアニール装置のシナジー発揮で事業を拡大

各市場の今後の方向性

- ロジック/メモリ : 既存顧客動向を見据えた中長期的な装置開発を推進
- CIS : イメージセンサ市場は26年後半以降に回復、既存顧客との関係性を強化
- パワー : 新規イオン注入装置を市場投入し、競合からのシェアを奪還

新規拡大市場

各市場の状況		イオン注入装置	レーザアニール装置
ロジック	- AI、データセンタ向けが市場を牽引 - PC、スマホ向けは成長鈍化	- 既存顧客との関係性強化 - 米国拠点構築で市場開拓	既存顧客が先端ロジックでレーザアニールプロセスの適用検討中
メモリ	- AI、データセンタ向けが市場を牽引 - PC、スマホ向けの本格的場回復は25年後半以降	- 新規イオン注入装置の市場投入 ⇒先端デバイスに向けた競争力の高い装置の早期市場投入 - LASSEのネットワークで新規顧客獲得	既存顧客から先端デバイス向け新規受注獲得
CIS	モバイル機器向け市場低迷も、市場は26年後半以降回復見込み	市況回復に備え、競争優位を継続し今後の増産投資確保	微細化が進む次世代イメージセンサでレーザアニールプロセスの適用検討中
パワー	EV・産業用途向けは低調も長期的には高成長継続	- 新規イオン注入装置の市場投入 - レーザアニール装置顧客から新規受注獲得	既存顧客との関係性強化による拡販

CIS : CMOS Image Sensor

03

メカトロニクス セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標	「中期経営計画2026」 基本戦略	
240億円	● 重点投資領域：成長・高収益分野の規模拡大、ターゲット市場への拡販強化 ● 基盤事業領域：ギヤモータ事業の収益力強化、サービス拡大	
	重点施策	進捗状況
重点投資領域		
電機制御、 ロボティクス・自動化	● 搬送物流市場での省エネ・高効率化に注力したビジネス展開 ● 小型精密モジュール事業の拡大	● 搬送物流市場向け分散制御インバータ搭載型ギヤモータの開発、販促開始 ● 商品の開発およびライトハウスカスタマー開拓実施中
半導体 (コンポーネント)	● 精密位置決め装置の新市場拡大 ● 米国に精密ステージ評価センタ設置、グローバルトップ顧客開拓の加速	● 狙いの米国顧客での製品評価開始 ● 25年8月に米国ステージ評価センター開設予定、9月より順次評価用ステージ設置開始
基盤事業領域		
中型/大型減速機	● 更新需要へのサービス強化とドロップイン提案 ● 高効率モータを組合わせたギヤモータ商品力強化 ● 機種集約	● 国内人員増強、E/U活動強化、海外でのドロップインのグローバル展開強化 ● 最高効率クラスギヤモータの発売開始予定（25年度中） ● 機種統廃合及び価格改定、不採算案件・顧客からの撤退

03

インダストリアル マシナリー セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標		「中期経営計画2026」 基本戦略	
220億円		● 重点投資領域：競争優位性のある領域で勝ち切る ● 基盤事業領域：プラスチック加工機械事業の構造改革の実行	
		重点施策	進捗状況
重点投資領域			
半導体		● 差別化商品（新規イオン注入装置）の開発によりパワー半導体領域の売上拡大	● 25/4Q開発完了、26年度早期の上市（国内）を目指す ● イオン注入・アニール連携、LASSEを活用した販売展開等による競争力強化を推進中 ● 見込んでいた需要回復が遅れ、特に中国市場の影響が大きく、売上大幅減の見込み
先端医療機器		● 陽子線治療装置（超電導型）およびBNCTの拡大戦略、実行	● 陽子線治療装置（超電導型）の初号機据付開始、2号機受注 ● BNCTは国内、海外案件引合対応中 ● 複数受注へ向けた体制作りを継続
基盤事業領域			
プラスチック加工機械		● 機種整理と業務プロセス変革 ● SDGの構造改革実施	● 26年末までに22機種削減予定。客先協議を加速 ● SDGは想定より需要回復が遅れており、追加施策の検討を開始

03 ロジスティックス&コンストラクション セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標		「中期経営計画2026」 基本戦略	
270億円		● 重点投資領域：社会課題解決に向けた電動化、遠隔・自動化、DXなどの先進技術開発を推進 ● 基盤事業領域：日米欧先進国市場での収益確保とグローバル生産体制の構築	
		重点施策	進捗状況
重点投資領域			
ロボティクス・自動化		● セグメントに開発センター整備 ● 共通の電動化/遠隔・自動化/DXなど開発促進（13.5トン電動ショベルなど）	● 25年7月よりセグメント開発センターに電動化、遠隔・自動化の開発人員を増強 ● 13.5トンの電動ショベル試作機を開発、CSPI-EXPO2025（国際 建設・測量展）に出展
基盤事業領域			
建設機械 (油圧ショベル、建設用クレーン)		● 新機種投入による差別化と収益性改善 ● 横須賀製造所活用による最適生産体制の構築	● 日米主要市場で油圧ショベル新型モデル順次投入 北米) X4Sシリーズを24年度より順次発売開始 国内) レジエスト8型機4機種を25年4月より発売開始 ● 建築費高騰、建設業界での人材確保問題等の影響で当初計画より遅延あり、27年度より少量生産開始予定
物流機械 (産業用クレーン、物流倉庫)		● 自動化とカーボンニュートラルによる商品差別化開発（ARTG） ● DX活用（SIRMS®）によるサービス高付加価値化の展開	● FC換装型ハイブリッド完成、FC化開発は東京港青海ARTG (25年12月納入予定)で検証 ● SIRMS®造船向け9台契約稼働中、港湾へ展開

03

エネルギー＆ライフライン セグメント 重点施策 実施状況

2026年度利益目標	「中期経営計画2026」 基本戦略	
70億円	● 重点投資領域：カーボンニュートラル事業、再エネ促進事業の次世代中核事業の育成・事業化推進 ● 基盤事業領域：ボイラ事業の構造改革の実行、機能強化・提案メニューの拡充など、サービス事業強化	
	重点施策	進捗状況
重点投資領域		
カーボンニュートラル事業	● カーボンキャプチャー技術実証および評価 ● バイオマスガス化～SAF製造実証試験 ● 未利用バイオマスからの炭素固定化事業実証	● CO2分離回収試験評価中/先進的CCS事業委託調査業務受託 ● SAF製造実証事業参画予定 ● バイオ炭製造実証設備建設完了/各種燃料での実証試験中
再エネ促進事業	● LAES実証設備の25年度中の商用運転開始 ● 洋上風力基礎構造物事業化に向け営業力強化	● 2025年11月より商用実証運転予定 ● Round1・2向け基礎構造物見積対応中
基盤事業領域		
エネルギープラント	● ボイラ事業の構造改革実施	● 固定費適正化は計画通り進行中
プロセス機械/プラントサービス	● 化工機・水処理・食品機械事業の拡大 ● サービス事業拡大とセグメント内の連携強化 ● ボイラ燃料転換改造（TMU）の推進	● 大型製番の確実な受注と製番採算確保により売上拡大 ● BU間のサービス協業体制構築中 ● TMU案件増加

04

Appendix

04

非財務目標（サステナビリティ）

「中期経営計画2026」
サステナビリティ基本方針SDGs、当社Gの2050年カーボンニュートラル目標達成に向けた対応を強化し、
社会環境変化のリスクをチャンスへ変えて企業価値向上を目指す

区分	重要課題	2024年 実施内容	2024年 実績	2026年 目標
価値創造課題	E 環境負荷の低減	- 製品製造時のCO2排出量(Scope1,2)は計画通り推進 - Scope3 Cat.1(調達)の算定範囲の拡大(国内) - 主要製品のCFP算定対応	CO2排出量削減（19年比） - 製品製造時：△30% - 製品使用時：△71%	CO2排出量削減（19年比） - 製品製造時：△35% - 製品使用時：△50%
	よりよい暮らし・働き方の実現	- 鉄鋼壁面走行ロボットの認証取得、実証実験実施 - 遠隔管理システムの適用拡大 (SIRMS®大型クレーン統合型遠隔監視システム)	(左欄参照)	(自動化技術の更なる進化)
経営基盤強化課題	S 従業員の安全・健康・育成	- 役員各自によるダイバーシティ推進行動宣言 - 健康経営優良法人2024認定（4年連続） - PRIDE指標2024ゴールド受賞（2年連続）	女性管理職比率：2.5% (国内連結)	女性管理職比率：3.7% (国内連結)
	地域との共存・共栄	新居浜市で「やさしいミライの学校」(STEAM教育ワークショップ)開催	社会貢献活動支出額：2.6億円	社会貢献活動支出額：2億円
	持続可能なサプライチェーンの構築	ベトナム、インドネシアの自社製造拠点とサプライヤーの労働環境調査実施(人権デュー・ディリジェンス)	高リスクサプライヤー調査:67%	高リスクサプライヤー調査:100%
	G ガバナンスの強化	- 女性取締役2名への増員 - 取締役会のあり方につき議論、取締役会付議事項の改定	女性取締役数：2名(18%)	女性取締役数：2名
	製品品質の確保	製品のソフトウェア品質向上の取組強化	製品に関わる重大インシデント件数：1件	製品に関わる重大インシデント件数：0件

SIRMS®：SHI-MH Integrated Remote Monitoring System

04

カーボンニュートラルへの取組み 液化空気エネルギー貯蔵（LAES）

LAESは再生可能エネルギー等の余剰電力を充電し、必要な時にタービンを回して発電するエネルギー貯蔵システムです。

社会課題

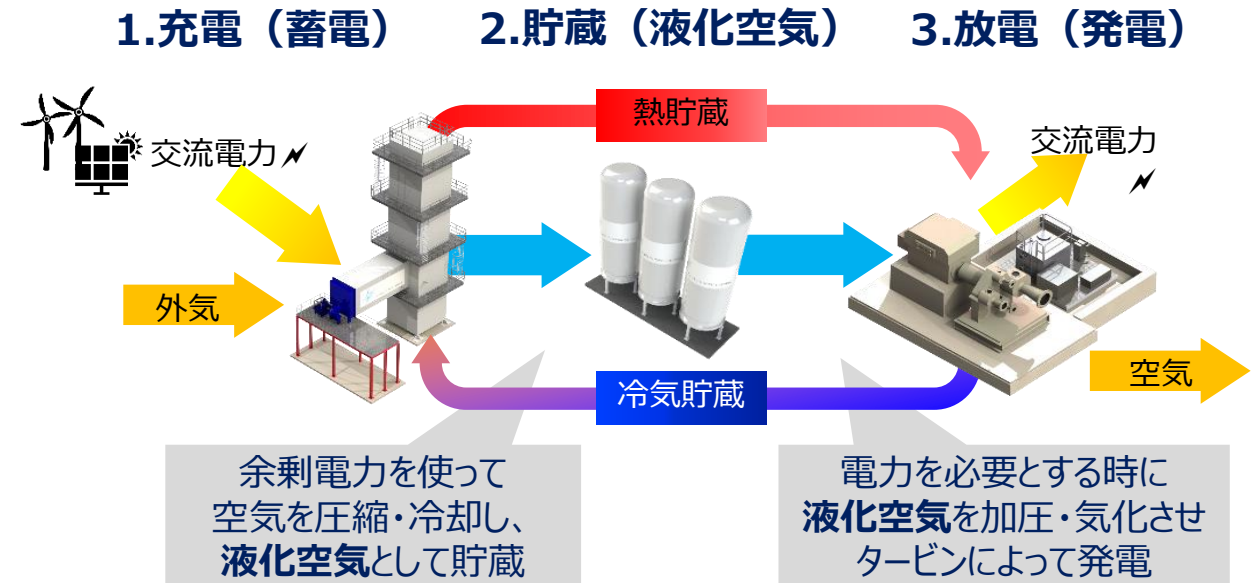
太陽光や風力発電のような変動電源の比率が増加する中、需給調整と系統安定化のため、長時間エネルギー貯蔵システム（LDES）が注目されている

エネルギー貯蔵システムの種類

	蓄電池	CO2 バッテリ	LAES	CAES	揚水発電
立地制限	◎	△	○	×	×
環境負荷	△	◎	◎	△	×
放出時間	分～日	時間～日	時間～日	時間～日	時間～週
大型化	△	△	○	◎	◎
応答性	◎	○	○	○	△
系統安定化	×	○	○	◎	◎
コスト	△	◎	○	◎	△

当社の取り組むLAESは立地制限が小さく、蓄電池と揚水発電の中間域をカバー

LAESの原理・特徴



- 太陽光や風力発電による出力変動を吸収するため**電力系統の安定化**に寄与
- 電力系統の周波数を安定化させる慣性力も供給可能、**再エネ主力電源化**に貢献
- 長期脱炭素電源オークションの長期エネルギー貯蔵入札枠が新設見込み

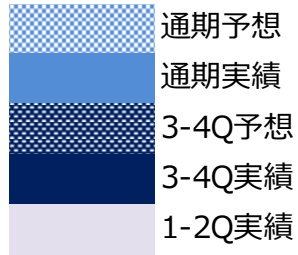
✓ バイオマス発電プラントで培ったエンジニアリング力を活用

✓ **2025年に広島ガス殿廿日市工場内で商用実証プラント運転開始予定、2030年には約500億円/年の事業規模を目指す**

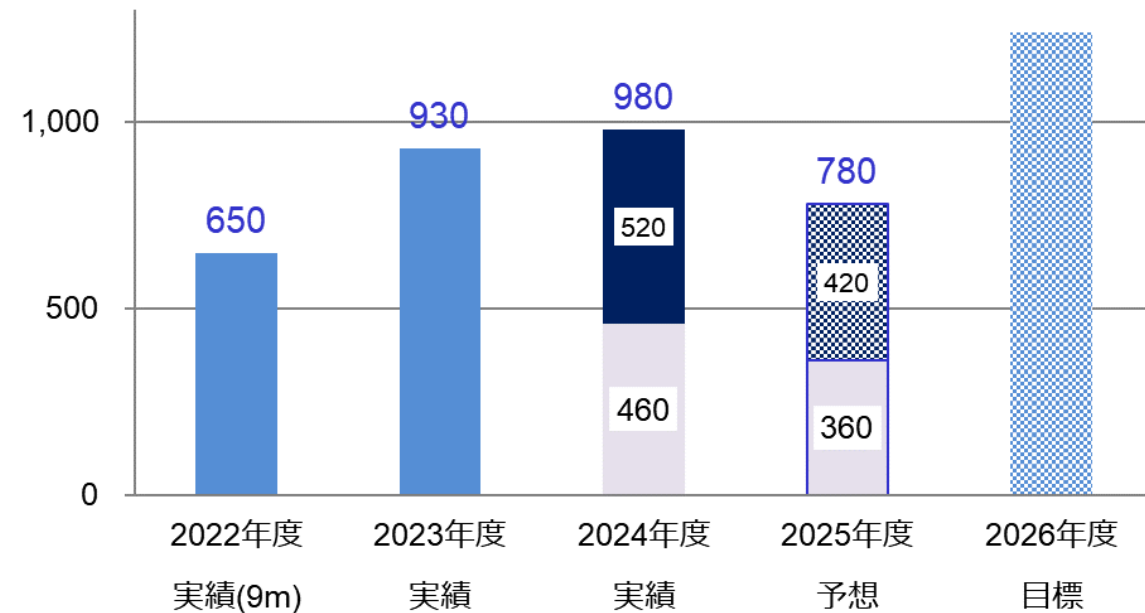
04

セグメント戦略：主要KPI（半導体事業）

半導体関連事業 売上額合計（概数）



単位：億円



当社が保有する半導体分野向けコンポーネント・装置とキーテクノロジー

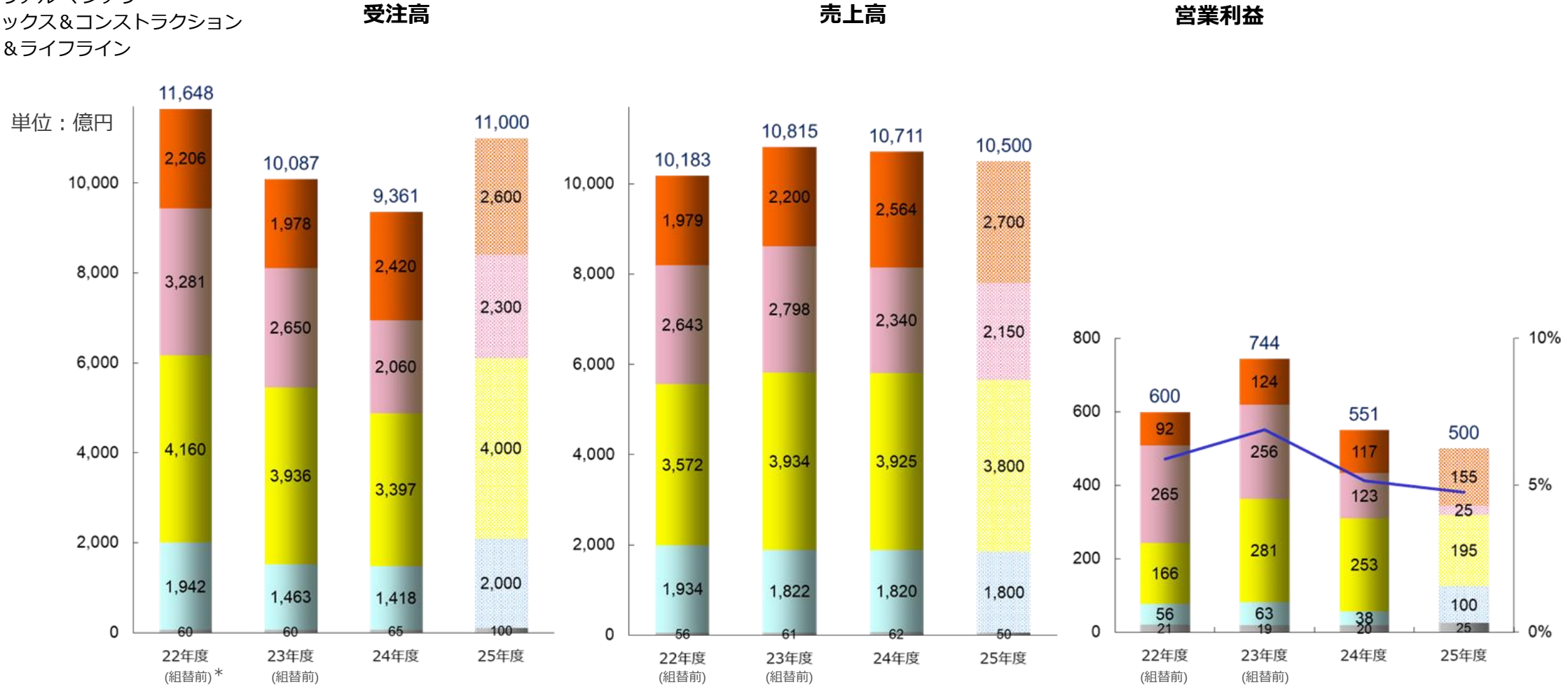
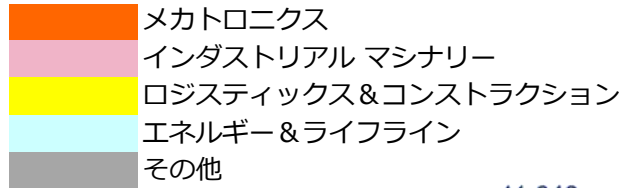
	製品	セグメント	キーテクノロジー		
			ビーム・精密制御	極低温	真空
コンポーネント	4KGM冷凍機/クライオポンプ			◎	◎
	真空ロボット				◎
	精密位置決め装置		◎		○
装置	レーザアニール装置	インダストリアルマシナリー	◎		
	イオン注入装置		◎		○
	イオン照射事業		◎		○
	MCZ用超電導マグネット			◎	○

キーテクノロジーとの関係性（◎：大 ○：中）

04

財務数値推移(連結)

■ 受注／売上／営業利益 推移



04

各セグメント参考情報①

<メカトロニクス>

・変減速機事業 機種別売上構成（概数）

	ギヤモータ (中型)	ギヤボックス (大型)	精密用途 (MCD)	サービス	電機制御	合計
2025年度 上期	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2024年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%

<インダストリアル マシナリー>

・射出成形機 売上業種別構成（概数）

	電気・電子 関連	自動車	医療・食品 容器・雑貨	その他	合計
2025年度 上期	20%	20%	45%	15%	100%
2024年度	15%	20%	50%	15%	100%

04

各セグメント参考情報②

<ロジスティックス&コンストラクション>

・油圧ショベル 地域別需要/売上高推移（概数）

単位：万台(上段)/億円(下段)			北米	欧州	※外資のみ アジア (除く中国)	中国 *	日本	その他	合計
2025年度	需要予想		3.9	2.9	2.6	1.3	2.0	-	
	売上高	上期	244	53	171	34	330	44	
2024年度	需要		3.9	2.9	2.3	1.1	2.3	-	
	売上高	上期	376	73	167	29	433	54	
		通期	636	122	370	54	912	122	2,215

・産業用クレーン 業種別受注構成（概数）

	電力	鉄鋼	造船	港湾	その他	合計
2025年度 上期	0%	5%	55%	0%	40%	100%
2024年度	25%	35%	35%	0%	5%	100%

・建設用クレーン事業（国内）業績（概数）

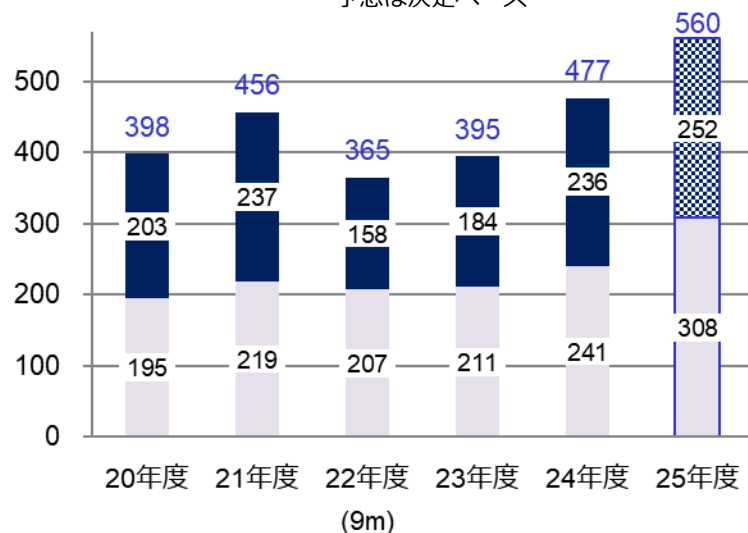
単位：億円	2024年度		2025年度	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想
受注	220	390	190	370
売上	210	440	210	430

04

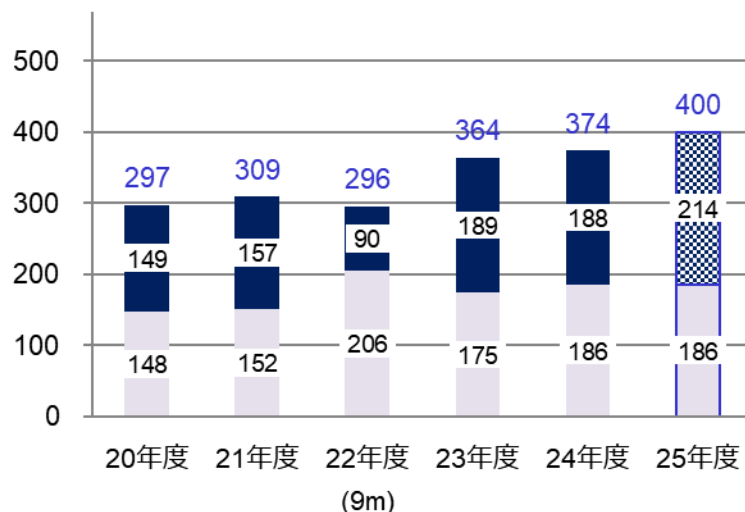
設備投資・減価償却費・研究開発費・人員・為替感応度

設備投資*

*実績はキャッシュアウトベース、
予想は決定ベース



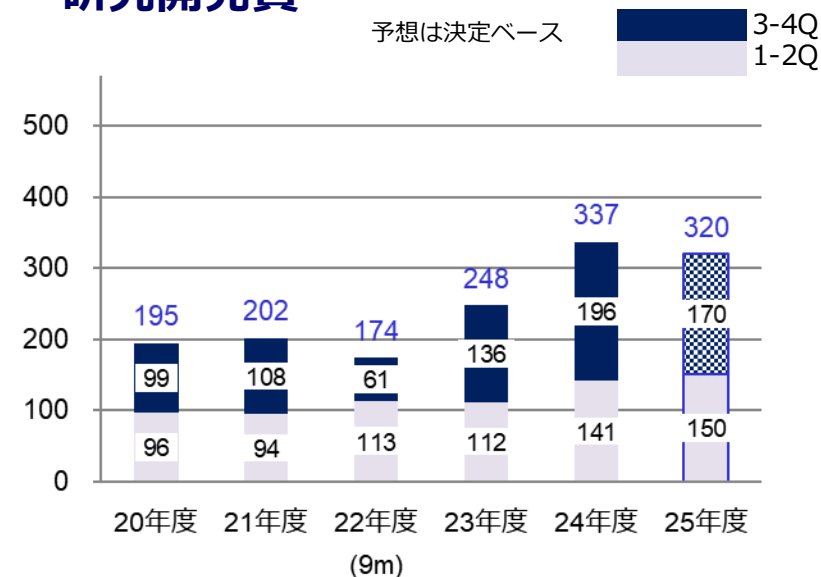
減価償却費



研究開発費*

*実績はPLベース、
予想は決定ベース

単位：億円



人員（各年度終了時点）

単位：人	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 6月末
	25,211	25,303	25,337	25,337

為替感応度（2025年度予想）

単位：億円	ドル	ユーロ	合計
1円の変動による営業利益への影響額*	2.6	0.7	3.3

*2025年度想定レートは¥145（ドル）、¥152（ユーロ）

04

地域別売上高

<為替レート(ドル)¥ 148> 単位：億円		2025年度 上期 実績															
		北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高	
メカトロニクス		286		271		169		140		84		951		343		1,294	
	(プラスチック加工機械)	39		100		61		133		24		358		72		430	
インダストリアル マシナリー		71		112		136		216		25		561		421		982	
	(油圧ショベル)	244		53		171		34		44		546		330		877	
ロジスティックス&コンストラクション		654		62		223		36		49		1,023		731		1,754	
エネルギー&ライフライン		67		124		95		8		31		325		558		883	
その他		-		-		-		0		-		0		34		34	
合計 / 売上高比率(%)		1,079 22		569 12		622 13		400 8		189 4		2,860 58		2,086 42		4,946	

<為替レート(ドル)¥ 152> 単位：億円		2024年度 上期 実績															
		北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高	
メカトロニクス		281		287		156		130		83		936		325		1,262	
	(プラスチック加工機械)	42		105		50		104		32		333		89		423	
インダストリアル マシナリー		57		114		135		242		32		581		478		1,059	
	(油圧ショベル)	376		73		167		29		54		697		433		1,130	
ロジスティックス&コンストラクション		774		92		224		30		67		1,187		775		1,962	
エネルギー&ライフライン		84		175		72		3		71		405		482		888	
その他		-		-		-		0		-		0		32		33	
合計 / 売上高比率(%)		1,196 23		668 13		588 11		404 8		254 5		3,110 60		2,093 40		5,204	



将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。